



サイコウ sci-甲! サイエンス 甲南高校

吉井・春田 (1年7組) 伊藤・久保 (2年7組)

1 「職業を知るセミナー」～社会に求められる人とは～



11月4日(金), 1年生を対象に「職業を知るセミナー」が行われました。様々な職業をされている11人の方々をお招きしてお話を伺いました。今日はその中から2つの講座を紹介します。

1つ目は「株式会社タニタ」の甲阪絢佳さんのお話です。甲阪さんは、管理栄養士の資格を取得した後に、株式会社タニタに就職されました。

甲阪さんは、タニタの健康器具を販売される際、食事の摂り方等の具体的なアドバイスを加えるといったように、管理栄養士の資格を役立てていらっしゃるそうです。

このことについて、甲阪さんは「『資格を使って仕事をしなければ

ならない』ではなく、『資格を武器にする』という考えもある」と教えてくださいました。甲阪さんのお話は、「見方を変えることで私たちの可能性が広がる」ということを学ぶ機会となりました。

次に、「亀山動物医療センター」の獣医師、池田健一郎先生のお話です。

獣医師には公務員獣医師、畜産獣医師、小動物獣医師、臨床獣医師の4種類があるそうです。お話を伺うと、獣医師の方々には私たちが思っていないところでたくさんお世話になっていることが分かりました。中でも驚いたのは獣医師が食品衛生の仕事にも携わっていらっしゃることです。食肉センターでは獣医師が肉の品質調査を行っているそうです。私たちが普段口にしてる食べ物の安全が保証されているのは、獣医師をはじめとした見えないところで私たちのために働いてくださっている方々のおかげだと改めて感じました。

最後に、獣医師として必要なスキルは3つあるそうです。1つ目は診断治療の知識と技術、2つ目は飼い主とのコミュニケーション、3つ目は動物を愛する気持ちです。みなさんの中で獣医師を目指したいと思っている方は、この3つを意識して生活するのもいいかもしれません。



2 激動の時代を生き抜くために ～メタ認知能力をあげて己を知る～

11月2日(水)2年生は京都在住の日本青少年育成協会主席研究員 大村伸介先生をお招きしてコーチングセミナーが行われました。

大村先生は、私たちに必要な能力について話されました。「激動の時代を生きる私たちに、今必要な能力は『コミュニケーション能力』です。私たちはコミュニケーションの重点を相手において考えてしまいがちです。例えば『あの人はこうだから気が合わない』または、『あの人のこういうところが苦手だ』などと考えたことはありませんか。しかし、そうではなく、コミュニケーションの起点を自分において自分自身を見つめ直すべきです。」と教えてくださいました。

さらにメタ認知能力、つまり自分を客観的に見つめる力について「belief(思い込み)」が大切だとも話されました。「自分はこの程度だ」と決めつけるのではなく、「私なら絶対できる」と信じることで視野が広がり、自分というものが見えてくることでした。

このセミナーに参加して、大きな刺激を受け、自分の現状や進路を見直すことができました。この日に描いた未来の自分に近づくためにも様々なことにチャレンジしていきましょう。

